

2013 年度 心コミ大賞 テキスト作品部門 審査結果並びに講評

<審査員> 大島、デビッドソン、田辺、片岡、谷

【テキスト作品部門】

心コミ大賞 : Oshima Award 該当無し

奨励賞

「気化すること」
「アナスタシオの赤い砂」

服部 智
井上未彩乃

講評:

今回はフィクション3作品の応募がありました。応募者は2人とも在学中で、1人の学生は2作品応募してくれました。荒削りのところもありますが、書くことで自分を探求し、新しい道を開いていこうという若い意欲に好感を持ちました。

応募者の普段の姿からは気づきませんでしたが、応募者が豊かな創造力を持っていることに審査員一同感銘を受けました。審査委員会ではフィクションを書くこととコミュニケーションとの関係についても話題になりました。今後も「書く」ことを通して自己や社会と対話していってほしいと思います。

以下、各作品についての講評です。

心コミ大賞 : Oshima Award 該当無し

奨励賞

「気化すること」

服部 智

小説としてのまとまりには欠ける部分もあるが、家族との関係の中で自分を確立しようともがいてる主人公には共感できる作品。最後の一行で現実に戻り元の自分に戻る感じがいい。

奨励賞

「アナスタシオの赤い砂」

井上未彩乃

ファンタジックな世界の表現が未整理なためか、一読したときには何の話なのかよくわからない。しかし、読み返すと味がでてくる。宮沢賢治的な世界のようなものもある。

賞から漏れましたが、もう一遍の応募作品も力作でした。

「夏」 服部 智

若い男性にとっての女性の怖さを表現しようという狙いはわかる。男性の欲望という点ではリアリティが足りない。夏のイメージや肉感的な女性の表現に努力のあとがみられる。